

「令和7年国勢調査有識者会議 ワーキンググループ」開催要綱

1 目的

令和7年国勢調査の企画に関する事項、調査環境、調査の広報など、国勢調査に関する様々な課題について検討することを目的として、「令和7年国勢調査有識者会議」の下に、以下2のとおり「ワーキンググループ」を開催し、それぞれ検討を行う。

2 検討事項

- (1) 「令和7年国勢調査有識者会議 企画ワーキンググループ」
企画ワーキンググループにおいては、本調査の実施計画等についての検討を行う。
- (2) 「令和7年国勢調査有識者会議 広報・環境ワーキンググループ」
広報・環境ワーキンググループにおいては、令和6年度以降の広報の実施手法、マンション対策などの調査環境整備についての検討を行う。

3 構成員

- (1) 各ワーキンググループの構成員は別紙のとおりとする。
- (2) 必要に応じ、審議協力者として、総務省統計局統計調査部国勢統計課長が指名する構成員以外の者の参加を求めることができる。

4 開催頻度

各ワーキンググループは、年に数回開催する。

5 ワーキンググループの運営

ワーキンググループの庶務は、総務省統計局統計調査部国勢統計課において処理する。

令和7年国勢調査有識者会議 ワーキンググループ委員名簿

【企画WG】

會田 雅人	(滋賀大学データサイエンス教育研究センター特任教授)
加藤 久和	(明治大学政治経済学部教授)
玄田 有史	(東京大学社会科学研究所長)
佐藤 香	(東京大学社会科学研究所教授)
菅 幹雄	(法政大学経済学部教授)
津谷 典子	(慶應義塾大学教授)

【広報・環境WG】

會田 雅人	(滋賀大学データサイエンス教育研究センター特任教授)
天野 馨南子	(株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部人口動態シニア リサーチャー)
梶原 崇幹	(日本放送協会解説委員)
萩原 雅之	(トランスコスモス・アナリティクス株式会社取締役フェ ロー、マクロミル総合研究所所長)
堀部 政男	(一橋大学名誉教授)